

別科生の生活・学習意識をめぐる現状と課題

Current Situation and Issues of living and learning awareness on
Japanese program students

澤野 勝巳・高山 幸巳・田 渕 敬 光

要 旨

2019年度後期在籍の別科生38名に対して、アンケートによる生活実態および意識調査を実施した。計52の質問に対する回答から得られた学生たちの日本留学や別科への期待、生活実態、日本語および日本文化の学習や進路に対する意識や困難などの相関性を分析し、今後の学習指導、進路指導の方向性および学習環境の改善について考察した。

キーワード：別科生、生活・学習実態、進路、主体性

1. はじめに

一昨年より、別科生に対し、アンケートによる生活・学習実態および意識調査を実施し、それによって明らかとなった課題について論じてきた。調査では特に、これまで授業や進路・生活指導を担当してきた教職員が十分把握できていなかった問題点や課題が複数浮かび上がった。中でも、日本語や日本語以外の科目の自習に対する消極性、希望進路のための情報収集における主体性の欠如、教室外での日本語を使用する機会の少なさなどが重大な問題であることが明らかとなった。そのような問題を改善すべく対策を立て、今年度前期より積極的に取り組んできたが、果たしてその効果は出ているのか、また年度が変わり、調査対象者が異なる場合、新たな傾向や問題が発生していないかどうか。これらの疑問に対する答えを見つけ、更なる改善に役立てるため、昨年度の調査項目をベースとした別科生の生活・学習実態を問うアンケートを実施することにした。

1-1. 目的と意義

現在別科に在籍する学生達の生活実態、学習状況、学習や進路に対する意識および困難を把握、理解することを目的とする。これにより、今後の学習指導、進路指導、学習環境の改善、延いては別科の中長期計画策定等に寄与できるものとする。

1-2. 調査の概要

2019年春期入学および秋期入学の日本語専修課程・日本文化専修課程を履修する学生40名を対象に、留学目的、別科選択の理由、現在の学習状況、生活環境、進路の予定、別科に対する希望など、計52の質問項目をまとめたアンケート調査を実施した。アンケートは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の「私費外国人留学生生活実態調査」において使用された平成27年度私費外国人留学生生活実態調査アンケート用紙¹を参考に作成した2017年度版および2018年度版をベースにし、いくつかの設問を加えたもので行った。追加した設問は、昨年度までに挙げた課題をより鮮明に捉えるためのものである。調査期間は、2019年11月7日から約2週間の間で、在籍者数40名中38名からの有効回答を得た。

2. 調査結果の概要

調査の結果は以下の表1のとおりである²。本項では、本調査の集計結果を整理する。まず、集計結果を整理するにあたって、本調査における各設問を大きく6つに分類する。第一に、学生の基本情報および別科入学以前の動向について（Q1～Q10）。第二に、学生の学習環境や素地（Q11～Q18）。第三に、学生の生活面の実態に関するもの（Q19～Q25およびQ40）。第四に、学習面に関するもの（Q26～Q39）。第五に、学生の進路に関する設問（Q41～Q48）である。最後は、別科に対する希望に関する設問（Q49～Q52）である。これは自由記述となっている³。

それでは、これらの分類をもとに各設問の結果について詳しくみてみよう。

2-1. 学生の基本情報および別科入学以前の動向

各設問の集計結果をみると、Q1は学生の性別を問うたものであり、男性23名、女性15名となっており、昨年よりも女子学生の割合が若干増えている。次に学生の国籍をみると、中国が28名と最も多く、次いでベトナム8名、その他の国が2名という構成であり、中国出身の学生が圧倒的に多い。Q3は別科のコースの別であるが、日本文化専修課程が37名と97%を占めている。Q4では、留学先として日本を選んだ理由についての設問である（複数回答可）。結果は、日本文化や日本社会に興味があって、日本で生活したかったからとする回答が26で最も多く、次に多かったのが、日本の専門学校や大学などの教育、専門に興味があったとする回答（20）であった。Q5の最終学歴

1 http://www.jasso.go.jp/about/statistics/ryuj_chosa/h27.html

2 各設問の選択肢に関しては付録資料のアンケート用紙を参照されたい。

3 Q49～Q52の回答には個人を特定できる記述があったため、本稿では扱わない。

では、高卒者が22名と最も多かった。Q6では、日本での滞在期間を問うており、最も多かったのは2年～3年未満とする回答であった。Q7の別科に直接入学したかどうかの問いでは、いいえと回答した学生が31名と圧倒的に多かった。Q8では、Q7でいいえと答えた学生に対して別科入学前に何をしていたかを問うているが、最も多かったのは日本語学校とする回答(27名)であった。Q9は別科を知ったきっかけについて問うた。その結果、学校の先生から情報を得たとする学生が15名と最も多かった。次いで14名が先輩や友だちに聞いたとしている。Q10では、なぜ別科を選んだのかについての設問である(複数回答可)。授業の内容がよさそうだからが19で最も多かった。

学生の基本情報および別科入学以前の動向に関しては、一部を除いて昨年度とほぼ同様の結果となっている。それでは、学生の学習環境や素地についてはどうだろうか。次項ではこれについてみていきたい。

2-2. 学生の学習環境・素地

Q11は学生が現在までどれくらいの期間日本語を学習してきたのかについての問いであり、2年～2年6か月未満とする回答が最も多く18名であった。次いで1年6か月～2年未満と答えた学生が12名であった。すなわち8割近くの学生が1年半～2年半日本語を学習していることになる。Q12では学生がこれまで取得した日本語能力試験(JLPT)のレベルを問うているが、昨年度最も多かったN3は3番目に多く8名で、最も多かったのは資格を持っていないとする学生で16名(全体の42%)であった。Q13では今後、進学や就職をするうえでJLPTが必要となるかを聞いており、必要と答えた学生が31名で8割以上の学生が必要だと答えている。また、Q14で日本留学試験(EJU)の受験歴を問うたが、受験したことがないとする回答が20名で多かったが、受験歴のある学生も18名おり、昨年度、受験経験のない学生が圧倒的に多かったことと比べると学生の意識がJLPTからEJUに移行しつつあることがわかる。次に、Q15でEJU受験経験者に対してEJUの日本語科目の得点を聞いているが昨年度と同様に201～250点とする学生が8名で最も多く、次に多かったのが、151～200点とする学生で7名であった。JLPTと同様にEJUの必要性についてもQ16で聞いているが、昨年度とは違い、必要とする学生のほうが多く26名(68%)であり、昨年度と比べても必要とする学生の割合が増加している(昨年度:46%)。また、Q17およびQ18で自宅等での学習時間(1週間)を問うた。その結果、昨年度と同様の傾向にあることがわかった。日本語科目は7～14時間と答えた学生が最も多く17名で、次いで7時間未満の学生が11名であった。すなわち、自宅等での日本語学習は1日平均2時間以下とする学生が7割以上であることがわかる。また、日本語以外の科目では7時間未満とする回答が最も多く19名で、半数の学生がほとんど勉強していないことになる。

以上のように学生の学習環境・素地に関しては、昨年度と相違する項目がいくつかあ

り、特に JLPT よりも EJU を重視する学生が増えていることが明らかとなった。それでは、生活面の実態に関してはどうかであろうか。

2-3. 生活面の実態

Q19 では、自宅から別科までの通学時間を聞いているが、昨年度と同様に 30 分～1 時間未満と答えた学生が最も多く 17 名であった。Q20 では現在アルバイトをしているかどうかを聞いた。その結果、アルバイトをしている学生は 17 名で、昨年度と違い、アルバイトをしていない学生の方が多いことがわかった (21 名)。Q20 でアルバイトをしていると答えた学生に Q21 でその内容を問うたが、工場で働く学生が最も多いことが明らかとなった (複数回答可)。また、彼らのアルバイトの時間は昨年度と同様に 1 週間に 20～25 時間未満とする答えが 10 名で最も多かった。Q23 では、アルバイトをする理由についての設問 (複数回答可) であるが、生活費のためとする回答が圧倒的に多く、回答数は 13 であった。Q24 の 1 か月にかかる生活費に関しては、10 万円以上と答えた学生が 10 名と最も多く、9 万円～10 万円未満の学生と合わせると全体の半数を占めており、生活費が非常に高くなっている。次に、Q25 で 1 日の平均睡眠時間を問うたが、昨年度と同様に 6～7 時間未満が最多 (14 名) であった。Q40 は生活での困りごと (複数回答可) について聞いたものだが、昨年度最も多かった生活費が足りないがそれほど多くなく 8 名で、生活の中で使う日本語がわからないとした回答が最も多い結果となり、15 名が選択している。また、次に多かったのは生活で困っていることはない (14 名) であった。以上のことから全体的に学生の生活水準が上がっていることがわかる。次に、学習面の実態についてみてみよう。

2-4. 学習面の実態

学生の学習面は、Q26 の日本語学習における困りごと (複数回答可) で、去年最も多かった家で勉強する時間がないが 2 番目に多いものとなっており、最も多かったのが教室以外で日本語を使う機会がないが 20 であった。また、Q26 で授業が難しくてわからないと答えた 6 名の学生に対しては Q27 で日本語の何が難しいのかを聞いている。ここでは、文法が 2 名であること以外は、偏りがみられなかった。次に、Q28 では、日本語がなぜ難しいのかを聞いている。ここでは、教科書などがむずかしいからという答えと自分が予習や復習をしていないからという答えが 2 名ずついた。さらに、Q26 で授業がつまらないと答えた学生 3 名に対して、Q29、30 で何がつまらないのか、なぜつまらないのかと聞いているが、つまらない科目は語彙 (ことば)・読解・作文で、理由は教科書などがおもしろくない・先生が授業に関係のない話ばかりする・授業が単調だからと答えている。Q31 では、Q26 で勉強しても上手にならないを選んだ学生に対して、どんな時に日本語が上手になっていないと感じるかを記述式で聞いている。また、Q32

に関してどのくらい日本語が上手になりたいかを記述式で答えさせており、これらは回答が様々であるためここでは扱わず後項で詳述したい。Q33はQ26で、教室以外で日本語を使う機会がないと答えた20名に対して、本学のランゲージ・ラウンジ⁴やJIST⁵の活動に参加したことがあるかどうかを問うている。その結果、ほとんどの学生である17名が参加経験がないと答えている。Q34では、Q33で参加経験があると答えた3名を対象に、これからもランゲージ・ラウンジやJISTの活動に参加したいかを問うたが、全員がはいと答えている。Q35はいいえと答えた学生に対しての設問であったが、回答者がいなかったため割愛する。Q36は、Q33で参加経験がないと答えた学生17名に対して、なぜ参加しないのかと問うたものであるが、知らなかったとする回答が8名と最も多かった。

日本語学習に関しては以上のような結果となったが、日本語以外の学習に関してはどうかであろうか。Q37では、日本語以外の科目の学習において困っていることを問うている（複数選択可）。その結果、日本語以外の科目の勉強で困っていることはないとする学生が圧倒的に多く、13名であった。次いで家で勉強する時間がないとする学生が8名で、授業がつまらないとする学生が7名であり、昨年度とほぼ同じ傾向にあることがわかった。Q37で授業が難しいとした学生に対してQ38でなぜ難しいのかを問うているが、先生の話すスピードが速いとする学生が2名いた他はあまり偏りが見られない。なぜ授業がつまらないのかを問うているQ39では、その科目に興味がないとする学生が3名、教科書などがおもしろくないとする学生が2名、その他1名という結果であった。

2-5. 進路に関する動向

次に、進路に関する動向をみてみよう。Q41で、まず、学生らの希望する進路を問うた。その結果、昨年度と同様に他の大学の学部1年生に進学するが11名で最も多く、次いで城西短期大学に進学するとしている学生が8名と多かった。次のQ42では、進路についての明確さを聞いたが、今考えているという回答が最も多く18名、次いでもうはっきりしているが17名であった。これに加えて、Q43では進路の情報収集や準備などの進捗度を聞いた。これには27名の学生が、今していると答え、昨年度と同様の結果となった。また、Q44では、進路に関する説明会に参加した経験があるかと問うたが、参加していないとする回答が18名で最も多かったが、学校の説明会に参加したとする学生も16名と多かった。Q45は進路に関する情報収集において他者の助けが必要かどうかを問うたものであるが、先生、友だち、先輩、家族などの助けが要るとした学

4 主に昼休みに英語を中心として外国語の会話をしたい学生が集まり、談話する機会を提供するために設置されたラウンジ。日本語を話したい留学生も受け入れている。

5 Josai International Supporter's Teamの略で、学内外において国際交流をサポートするボランティアの学生グループ。留学生も数名参加している。

生が圧倒的に多く、34名であった。Q46は、Q45で他者の助けが必要と答えた学生に対して、なぜ一人ではできないのかを問うたものであるが、一人で情報集めをするのが不安だからと答えた学生が突出して多く、22名であった。Q47、48でそれぞれ日本の大学に進学したい理由と日本の企業に就職したい理由を問うているが、進学したい理由としては、卒業したあと、日本で就職したいからとする回答と、日本での生活を長く続けたいからとする回答がともに10名であった。次いで勉強したい専門があるからが6名であった。就職したい理由に関しては、自分がしたい仕事ができるからとする回答と、日本での生活を長く続けたいからとする回答がともに6名ずつであった。

表1 各設問の集計結果⁶

設問	選択肢																			(回答数)	の割合	最多回答
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19			
Q1：性別	23	15																		38	61%	
Q2：国籍	28	8	2																	38	74%	
Q3：別科コースの別	1	37																		38	97%	
Q4：日本を選んだ理由	20	10	16	26	7	6	5	0	0											90	29%	
Q5：最終学歴	22	5	2	2	7	0	0													38	58%	
Q6：日本滞在期間	4	11	22	1																38	58%	
Q7：別科に直接か否か	7	31																		38	82%	
Q8：入学前何を	27	1	3	0	0															31	87%	
Q9：別科を知ったきっかけ	2	14	15	4	0	3														38	39%	
Q10：別科を選んだ理由	10	19	12	12	16	7														76	25%	
Q11：日本語学習期間	0	0	2	12	18	5	1													38	47%	
Q12：JLPTの取得レベル	2	10	8	0	2	16														38	42%	
Q13：JLPTの必要性	31	7																		38	82%	
Q14：EJU受験経験	18	20																		38	53%	
Q15：EJU得点	0	7	8	3	1															19	42%	
Q16：EJUの必要性	26	12																		38	68%	
Q17：自習時間（日本語）	11	17	6	2	1	1														38	45%	
Q18：自習時間（日本語以外）	19	9	6	1	3	0														38	50%	
Q19：通学時間	10	17	6	4	1															38	45%	
Q20：アルバイトをしているか	17	21																		38	55%	
Q21：アルバイトの内容	6	4	1	0	0	0	8	0	1											20	40%	
Q22：アルバイトの週時間	0	0	3	3	10	1														17	59%	
Q23：アルバイトをする理由	13	0	2	2	0	0	0													17	76%	
Q24：月生活費	3	3	4	5	4	9	10													38	26%	
Q25：睡眠時間	0	2	2	10	14	9	1													38	37%	
Q26：日本語学習の困りごと	6	3	6	4	20	1	2	11	5	3	6									67	30%	
Q27：何が難しい（日本語）	1	0	2	1	1	0	1	0												6	33%	
Q28：なぜ難しい（日本語）	0	1	0	2	1	2	0													6	33%	

6 回答数が最も多かったものは太字。

Q29：何がつまらない（日本語）	0	1	0	1	0	0	1	0												3	33%	
Q30：なぜつまらない（日本語）	0	1	0	0	0	1	1	0													3	33%
Q33：LL や JIST 参加経験の有無	3	17																		20	85%	
Q34：これからも参加したいか（経験者）	3	0																		3	100%	
Q36：なぜ参加しないのか（未経験者）	8	4	5	0																17	47%	
Q37：日本語以外学習の困りごと	6	7	1	5	8	6	13	4												50	26%	
Q38：なぜ難しい（日本語以外）	2	0	1	1	1	1	0													6	33%	
Q39：なぜつまらない（日本語以外）	3	2	0	0	0	0	1	1												7	43%	
Q40：生活の困りごと	8	15	5	1	7	1	6	0	14	1										58	26%	
Q41：卒業後進路	3	1	1	8	5	0	0	0	0	0	11	1	0	0	4	0	4	0	38	29%		
Q42：進路についての明確さ	2	18	17																37	49%		
Q43：進路の情報集め進捗度	6	27	4																37	73%		
Q44：説明会参加の有無	16	3	18																37	49%		
Q45：情報集め他者の協力要不要	3	34																	37	92%		
Q46：なぜ一人できないか	3	8	22	0	1														34	65%		
Q47：日本で進学する理由	2	0	6	10	2	2	10	1												33	30%	
Q48：日本で就職する理由	3	3	1	6	6	1													20	30%		

表 2 記述式設問の回答（Q31、32）⁷

Q31：どんな時に上手じゃないと思うか	Q32：どのくらい上手になりたいか
翻訳がない日本の映画を見るとき	N2 になりたい
社会で色々な人と話すとき	べらべらで会話できるし、上手く文が書かれるぐらい
緊張のとき	日本語の N1 を取りたい
日本人と話すとき	日本人みたいな話し能力
日本人と話すとき	日本の高校生と同じくらい
難しい漢字の読み方が分からないとき	EJU300 点くらい
日本人とかいわのとき	80% 日本語が上手になりたいです
	自分の考えをはっきり話せるように
	日本人みたいなレベルになりたいです。
	N1
	JLPTN1、EJU 日本語 300
	日本人と話す時、理解できる
	日常会話の程度
	論文を書ける。面接では自由に答えができるくらい
	N1 をとることができるように
	母語のように
	城西大学を卒業したら日本語が上手になりたい
	生活の中の日本語用語が全部分かるようにになりたい
	ずっと挑戦したい。EJU 250 点以上に取りたい
	日本人みたいに日本語を話せるよう
	日本人と正常なスピードで話せるぐらい
	母語に近いレベル

7 原文ママ。同一回答者を同段に並べた。また、Q35 は回答者がいなかったため割愛した。

	日本語論文書きたい
	N2 くらい日本語がじょうずになりたいです。
	日本語で日本人と交流する全然問題ない
	学校の面接ができてい
	普通会話は大丈夫になりました
	今は日本語で日本人と言えます
	日本人と正常に交流できます
	アルバイトがしてみたいです
	日本人の 90% くらい上手になりたい
	漢字が上手です
	簡単な会話はできる
	日本人のようになりたいです
	聞く、書く、交流することができる
	日本人と交流できます
	N2 くらい
	自分の意見を正しく伝えるくらい上手になりたいです。

以上のように集計の結果、いくつかの設問で偏りがみられた。また、各設問の回答を昨年度のものと比較すると、昨年度と同じ傾向にあるものが多かったが、相違をみせるものもあった。また、昨年度の調査において挙げた課題への対策がどのような効果をもたらしたのかを検証すべき設問もある。次項でこのような設問に関する分析・考察および検証を行い、今後別科が検討すべき課題の抽出と改善すべき対策等について論ずることとする。

3. 調査結果の分析および考察

前項において明らかとなったように、本年度の調査結果には特記すべきいくつかの設問があった。そこで、本項では、これらについて様々な観点から分析・考察したい。また、その際には、昨年度調査において明らかとなった課題に対する本年度の取り組みがどのような効果をもたらしているのかについての検証も併せて行うこととする。

3-1. 各設問の相関関係

ここでは、調査項目のうち数値（レベル）を選択するタイプの設問について昨年度と同じく、相関の判定を行う。設問は、Q5（最終学歴）、Q11（日本語学習期間）、Q12（JLPT の取得級）、Q17（日本語の自習時間）、Q18（日本語以外の自習時間）、Q19（通学時間）、Q22（アルバイトの週時間）⁸、Q24（一か月の生活費）、Q25（睡眠時間）の 9

⁸ Q22 はアルバイトをしている学生のみ回答する設問であるが、Q20 でアルバイトをしていないと答えた学生は 0 時間として計上し、相関を求めた。

つである。昨年度は、Q22 が含まれていなかったが、本年度より分析対象に加えた。結果は以下のとおりである。

表 3 各設問の相関関係

	Q5	Q11	Q12	Q17	Q18	Q19	Q22	Q24	Q25
Q5：最終学歴	1								
Q11：日本語学習期間	-0.1354	1							
Q12：JLPT 取得級	-0.0448	0.1175	1						
Q17：自習時間(日本語)	-0.0998	-0.2088	-0.0373	1					
Q18：自習時間(日本語以外)	0.1964	-0.1670	-0.1863	0.3498	1				
Q19：通学時間	0.2137	0.0508	0.0276	-0.0930	-0.0559	1			
Q22：アルバイトの週時間	-0.2023	0.1784	0.2189	-0.3008	-0.4947	-0.1794	1		
Q24：月生活費	-0.0029	0.1255	-0.0362	0.1520	0.3088	-0.0143	-0.1969	1	
Q25：睡眠時間	-0.1476	0.3063	0.2924	-0.0538	0.0103	-0.1238	-0.0282	0.1558	1

各設問の相関をみると、全体的に相関がみられる項目は少ない。強いて言うならば Q18 の日本語以外の自習時間と Q22 のアルバイトの週時間との負の相関であるが、それ以外の相関に関しても昨年度と比較しながらみていきたい。

昨年度は、最終学歴と日本語以外の科目の自習時間との相関がみられなかったことで、日本語以外の科目の意義や学習方法についての説明機会を設けた効果がみられた。今年度も同様の対策をとったが、相関がみられなかったことで効果があったとみることができよう。しかし、昨年度課題として挙げた自習時間の長さであるが、今年度も短かったため効果は限定的である。日本語の自習時間については昨年度と比べて若干長くなっているようである。

また、日本語以外の自習時間と他の設問との相関をみてみると、アルバイトの週時間との負の相関がややみられる。すなわち、アルバイトの週時間が短ければ短いほど日本語以外の自習時間が長くなる傾向にあるのである。ただし、アルバイトの時間が短ければそれ以外のことにかける時間が多く取れるのは当然のことであるともいえる。

次に月生活費との相関をみてみると 0.3088 と若干の正の相関がみられる。これは月生活費が高ければ高いほど日本語以外の自習時間も増える傾向にあるのだが、生活費が高い学生は比較的裕福な学生が多く、アルバイトをしない傾向にあることから上記のアルバイト時間との負の相関と連動しているとみることができる。

さらに、日本語の自習時間とも 0.3498 と弱い正の相関がみられるが、これは日本語を自習する学生は日本語以外も併せて自習する傾向にあるということである。すなわち、学習意識の高い学生は科目にとらわれずに学習するのであろう。

昨年度は Q12 の JLPT 取得級と日本語学習期間・月生活費・睡眠時間とが負の相関にあることが明らかとなった。それでは今年度はどうであろうか。日本語学習期間に関

しては今年度の場合、相関がみられない。すなわち、日本語学習期間が長ければ JLPT 取得級が高くなるという当然ともいえる傾向がみられないということである。次に、月生活費に関してであるが、昨年度は JLPT 取得級が高くなると使用できる日本語の幅が広く、生活の中での出費につながると考えられたが、今年度は相関がみられないため、このような関連性はなかったといえよう。また、昨年度は睡眠時間との負の相関にあり、睡眠を長くすることで日本語能力が高まるとの見方だったが、今年度は正の非常に弱い相関がみられる。すなわち、睡眠時間が短い方が、日本語能力が高くなる傾向にあるのである。

3-2. 日本語学習における悩みに関して

ここでは、昨年度と同様に日本語科目に関する回答についてみていきたい。Q26 は日本語学習に関する困りごとについての設問（複数回答可）であるが、選択肢の中で「5. 教室以外で日本語を使う機会がない」、「8. うちで勉強する時間がない」を選択した学生が特に多かった（図 1）。

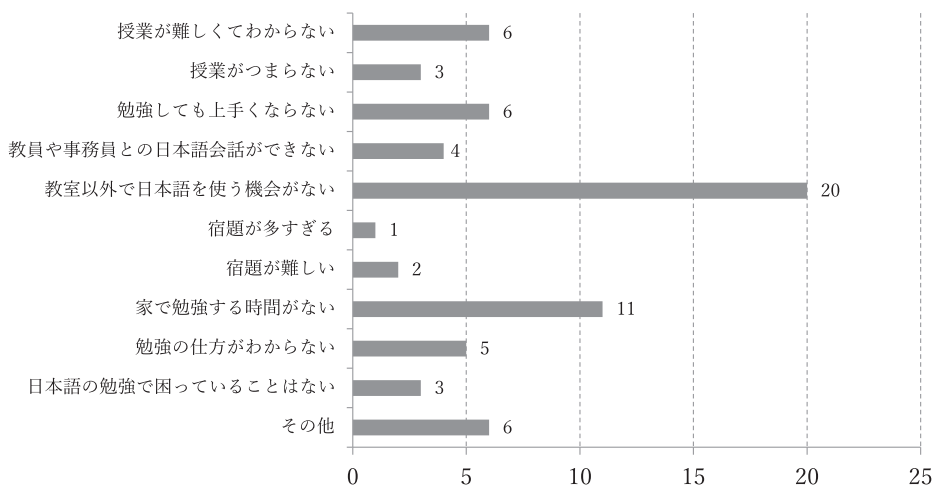


図 1 Q26. 今、日本語の勉強で困っていることがありますか。（複数回答可）

選択肢 8 に関しては、昨年度と同様に学生のプライベートの問題であるため、別科としての対策やサポートを展開するのが難しいとの判断でここでは論及しない。また、昨年度はこれらに加えて「3. 勉強してもじょうずにならない」も多かったが、今年度はそれほど多くはない。これは、授業の効果が上がったのか、或いは学生の質が上がったためなのか定かではないが、好ましい傾向であるといえよう。ただし、昨年度はこの選択肢が多かったため、今年度は選択肢 3 を選んだ学生に対して Q31 でどんな時に日本語

が上手ではないと感じるかについて記述式で答えさせている。ここでは回答数の多かった選択肢5およびQ31について考察してみよう。

3-2-1. 教室以外で日本語を使う機会がない

図1をみるとわかるように5の「教室以外で日本語を使う機会がない」と答えた学生は、20名と圧倒的に多い。昨年度は、授業時間で日本人との会話や討論の機会を創出することを対策とし、特に日本文化専修課程のUIクラスでは、経済学部フレッシュマンセミナーを受講している学生と合同ゼミと称してグループディスカッションをおこなうなど可能な限り機会を提供した。しかし、今年度の場合、諸事情により合同ゼミ等が実施できておらず、さらに、本学のランゲージ・ラウンジやJISTの活動に参加している学生が20名のうち3名しかいない。そのため、このような結果となったと思われる。それではこのような学生らが本当に日本語を使う機会がないのかについて考察してみよう。まず、選択肢5を選んだ学生の中でアルバイトをしている学生のみを抽出すると9名いることがわかった。この学生らのアルバイト内容を見てみると（図2）のようになる。

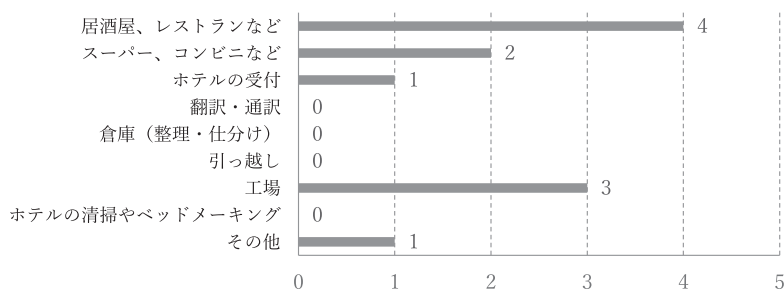


図2 選択肢5を選んだ学生のアルバイト内容

これをみるとわかるように、多くの学生が居酒屋、レストラン、コンビニ、ホテルの受付などの客や従業員と頻繁にコミュニケーションを取らなければならないアルバイトをしているようである。にもかかわらず、日本語を使う機会がないというのは、客や従業員とのコミュニケーションに際して定型文のみを使用しているのではないかと疑われる。例えば、居酒屋であれば、入退店の際の挨拶、注文を取る際の定型文、オーダーを厨房に伝える際の定型文、料理を運ぶ際の定型文だけを覚えてしまえば、機械的にこなすことができってしまう。たしかに、これは能動的な発話機会とはいえない。しかし、これは定型文のみで仕事内容をこなそうとしているからであり、定型文にこだわらなければ、注文を取る際に当日のおすすめを紹介するなどの能動的な発話機会を自ら創出する

ことは可能であるともいえる。であるならば、別科としてとれる指導としては、学生らに対してアルバイトに対する意識を変えさせ、日本語を使う機会を創出できる場であることを深く認識させることが挙げられる。また、ランゲージ・ラウンジや JIST に参加していない 17 名のうち 8 名がその存在を知らなかったと答えていることから、これらの活動について折に触れて告知することも対策として求められる。ともあれ、(図 3) でわかるように日本語を使う機会がないとする学生は一昨年度、昨年度と比べて今年度は大きく増加しており、早急に解決しなければならない課題であるといえる。

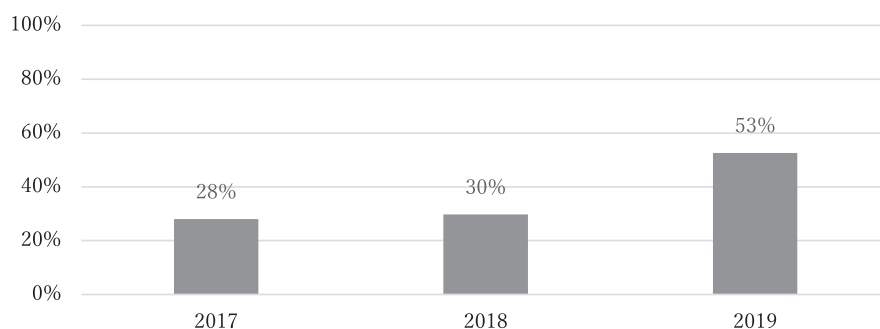


図 3 各年度の日本語を使う機会がないとした学生の割合⁹

3-2-2. どんな時に日本語が上手になっていないと感じるか

昨年度、課題として挙げた Q26 で、「3. 勉強しても上手にならない」と答えた学生について、その原因を究明するため、今年度から、どのような場面で自身の日本語力が不足していると感じるかについての設問 (Q31) を新たに加え、さらに、到達目標を明らかにするために回答者全員を対象とした設問も加えている。ここでは、今年度の当該設問においては勉強しても上手にならないと答えている 6 名についてみてみよう。

表 3 をみると、勉強しても上手にならないと感じている学生は、別科において上級クラスにあたる U1 クラスの学生がほとんどであることがわかる。これは、学ぶ内容のレベルが高くなると必然的に難易度が上がるため、所謂、学習曲線における上位の停滞期にあたる位置に学生らが到達しているためであると考えられる。すなわち、それまでの初級・中級レベルの上達速度と同様のものを上級レベルにおいても求めてしまうため、学生自身が理想とする上達速度と実際の上達速度との乖離が生じ、これに対して勉強しても上手にならないという結論に至ったのではないかと推測できる。実際にこの学生らの到達目標 (Q32) をみると、日本語ネイティブに近いレベルに設定していることがわ

9 割合 = 日本語を使う機会がないとする回答数 / 当該年度のアンケート回答者総数 × 100

かる。

一方で、U2クラスの学生も1名含まれているが、この学生の場合、学習曲線における停滞期が中級レベルの時点でも生じているためであると考えられる。

表4 日本語力が不足していると感じる場面と到達目標の回答¹⁰

クラス	Q31：どんなとき日本語がじょうずになっていないと感じますか	Q32：あなたはどのくらい日本語がじょうずになりたいですか。
U1	翻訳がない日本の映画を見るとき	JLPT N2 になりたいです。
	社会で色々な人と話すとき	べらべらで会話できるし、上手く文が書かれるくらい
	緊張のとき	日本語の N1 を取りたい
	日本人と話すとき	日本人みたいな話し能力
	難しい漢字の読み方がわからないとき	EJU300 点くらい
U2	日本人とかいわのとき	80%日本語がじょうずになりたいです。

それでは、このような学生らがどのような場面で自身の日本語能力不足を感じるのかについてみてみよう。それぞれの回答を大まかに分類すると6名のうち4名が会話や聴解といった場面で能力不足を感じている。そして、1名は精神状態によって、もう1名は漢字の読みであった。これに従えば、日本語ネイティブとの会話をする機会を多く設け、発話や聴解などの能力の向上を図るとともに経験を蓄積させることによって理想と実際との乖離をある程度埋めることが求められているといえよう。

3-3. 自習時間の少なさ

ここで、昨年度と同様に授業以外の時間における自習時間の少なさについて論及しておこう。図4は、日本語の自習時間についての設問の回答をグラフにしたものであるが、これをみると、7時間未満（1週間当たり）と答えた学生が圧倒的に多かった昨年度と比べると、やや改善しているように見える。しかし、回答者38名のうち74%の学生が授業以外での自習時間が1日平均2時間未満という結果となっている。たしかに昨年度は自習時間が極めて少なかったため、今年度は相対的によく見えてしまうが、実はそれほど多いわけではないことがわかる。また、図5にあるように日本語以外の科目に関しても7時間未満が圧倒的に多く19名となっており、日本語科目と同じく回答者38名のうち74%の学生が授業以外での自習時間が1日平均2時間未満という結果である。このように、総じて自習時間の少なさが目立った結果となっている。

10 原文ママ。

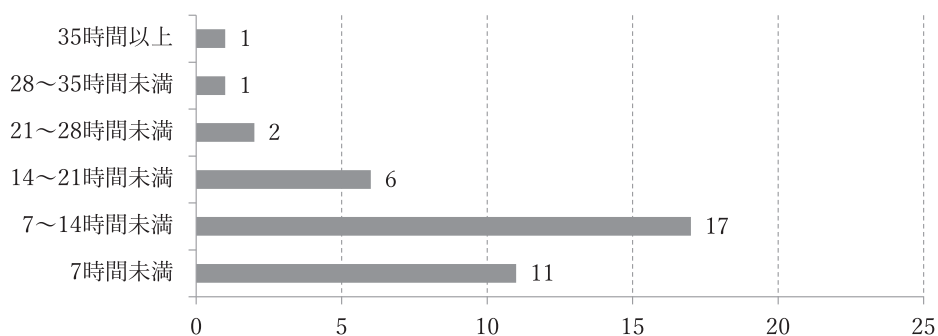


図4 1週間当たりの日本語の自習時間

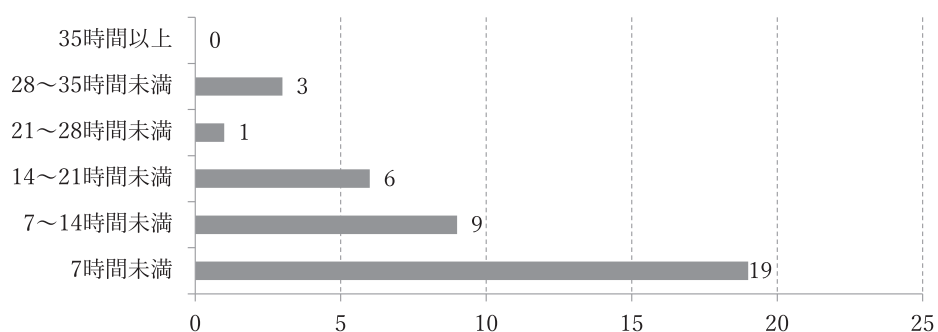


図5 1週間当たりの日本語以外の科目の自習時間

それでは、なぜ自習時間がこのように短くなってしまっているのかについて考察してみよう。まず、日本語の自習時間が14時間未満と答えた学生28名に絞って他の設問の回答をみると、アルバイトをしている学生が13名(46.4%)で、週あたりのアルバイト時間は20～25時間が圧倒的に多かった。したがって、日本語の自習時間の短い学生らのうち半数については、アルバイトが要因の一つであると考えられる。しかし、残りの半数はアルバイトをしておらず、JLPTやEJUの成績も持っていない学生も多く、さらに日本語を話す機会がないとする学生が8名いる。アルバイト等で時間をとられている訳ではないにもかかわらず、日本語を話す機会もなければ日本語を自習する時間も短い学生がいるということになる。さらに、アルバイトをしていない日本語の自習時間の短い学生のうち、日本語以外の科目の自習時間も14時間未満である学生を抽出すると15名中10名いることがわかった。そのうち4名が大卒者である。つまり、アカデミックな教育を受けた経験があるにもかかわらず、授業時間外において学習の時間をとらず、別のことをしているということになる。したがって、単純に自習をする意思がない

と考えられるのである。このような学生に対して、自習を前提とした教育を行うことは難しく、1年間という短い期間の中で日本語の上達や日本文化に対する知識の深化が期待できないといえる。

以上のことから、別科の今後の対策として取り得るのは、このような授業時間外の自習に対する意識が低い学生が少しでも自習に時間を使うように促すため、ICT教材の開発やそもそも学習意欲のない学生を入試の際にしっかりと見抜き、水際で防ぐことなどが挙げられよう。

3-4. 学生の希望進路

ここでは、学生の希望進路（Q35）について検討したい。昨年度は、学生の進路のための準備が受身的であった点を改善すべく、対策として教員側が積極的に介入するとともに、検索リテラシーの向上を図ったことが功を奏したのか、まだわからないとした学生は一人もいなかった。それでは、今年度の状況をみてみよう。図6は、今年度の学生の希望進路である。これをみると、まだわからないと回答した学生が3名おり、昨年度程の効果があがっていないことがわかる。また、例年通りではあるが、本学に進学しようとする学生は短期大学も含め、13名で全体の3分の1程度に留まっている。これは別科設立の意義を鑑みるとあまり良い状態とはいえないだろう。

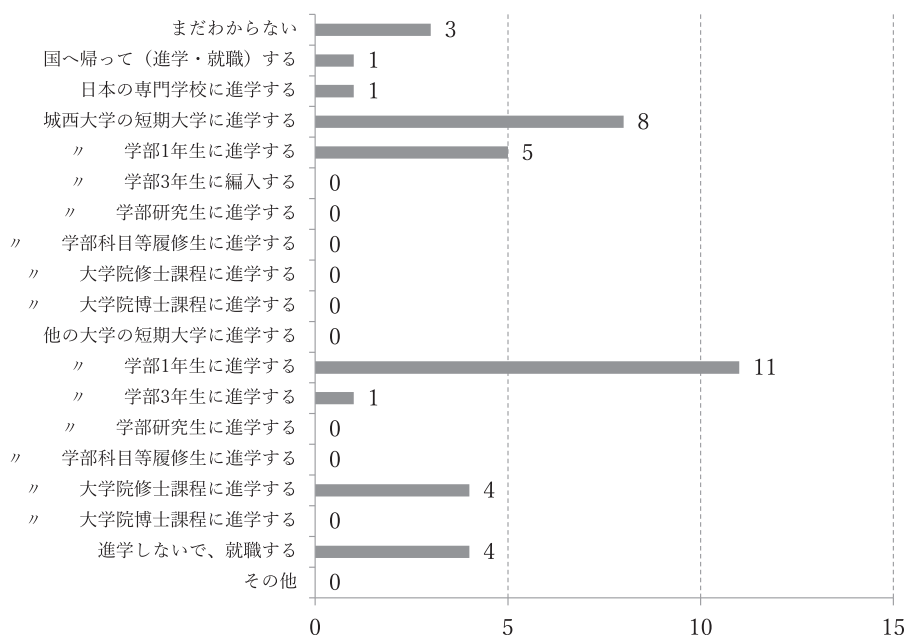


図6 卒業後の進路

それでは、昨年度問題として挙げた学生の主体性に関してみてみよう。まず、進路のための情報収集の一環として、進学説明会や就職説明会に参加したかどうかを問うため、今年度から Q44 で進学したい学校や就職したい会社の説明会に参加しましたかという設問を加えた。

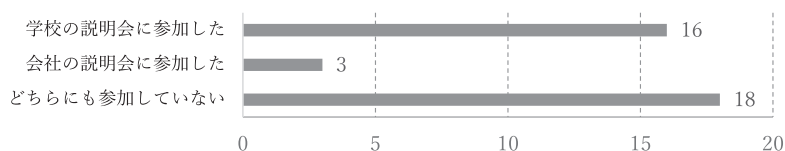


図7 説明会への参加経験

図7をみると、全体の約半数が説明会に参加していないことがわかる。このような学生は、主体的に進路についての情報集めをしていないのであろうか。この学生らを抽出して表4のように進路に関する各設問にどのように答えたのかを整理した。

表4 説明会参加経験がない学生の各設問の回答

設問	選択肢	回答数
Q42：進路についての明確さ	まだ何も考えていない	1
	今考えている	8
	もうはっきりしている	9
Q43：進路の情報集め進捗度	まだしていない	2
	今している	14
	もう終わった	2
Q45：進路の情報集めの助け要不要	自分ひとりできる	3
	先生、友達、先輩、家族などの助けが要る	15
Q46：どうして一人でできないか	日本語がわからないから	1
	情報集めの仕方がわからないから	4
	ひとりで情報集めをするのが不安だから	9
	ひとりで自分の進路が選べないから	0
	その他	1

これをみると、18名のうち半数が未だ進路がはっきりしていない。また、進路に関する情報収集に関しては、ほとんどの学生がまだ終わっていない。このような状況でありながら、説明会には参加していないのである。それでは、この学生らはなぜ説明会に参加し、主体的に情報収集ができないのであろうか。まず、Q45で情報収集における他者の助けが必要かどうかを問うたところ、「進路の情報収集を自分ひとりできるとした学生はわずか3名であった。そして、他者の助けが必要とする学生らに、ひとりでは

できない理由を問うたところ、ほとんどの学生が一人での情報収集に不安を抱えており、さらに情報収集のやり方もよくわかっていないことが明らかとなった。このような学生らに主体的な情報収集をさせるためには、やはり例年課題として挙がる検索リテラシーの向上を図ることが重要であろう。

4. おわりに

本稿では、昨年度明らかとなった課題や対策を念頭に、本年度の別科の学生に対するアンケート調査結果について分析や考察をおこなってきた。その結果、昨年度立てた対策の効果がみられたものや新たに課題として生じたものがある。ここでは、それらを改めて整理するとともに、今後の別科の方針を明示したい。

まず、分析・考察によって明らかとなった昨年度立てた対策の効果について整理してみよう。はじめに、日本語以外の科目の重要性を説く機会を増やすことについては効果がみられたが、限定的なものであった。そして、日本人と会話や討論ができるような時間の創出は、諸事情によりほとんど提供できなかった。そのため、日本語を使う機会がないとする学生が非常に多かった。また、学生の進路については、進路決定に積極的に教員が介入したことで、まだわからないとする学生は少なく、ある程度の効果がみられた。しかし、検索リテラシーの向上に関しては、学生の主体性の低さが目立ち、効果はあまりみられなかった。

次に、本調査によって浮かび上がった課題と対策について考えてみよう。まず、授業時間外における自習時間の短さである。これは、昨年度から続けてきた日本語以外の科目の重要性を説くだけでなく、学生が気軽に自習ができる環境づくり、すなわち、ICTを活用した自習教材の開発が必要であるといえる。そして、日本語を使用する機会の創出不足であるが、これは、定期的に学部等のゼミや講義と合同で学生同士が交流できる機会を提供するとともに、学外の団体・組織等の協力を仰ぐことも考えなければならない。これは、勉強しても上手くならないと感じる学生に対しても有効な対策と考えられる。日本語ネイティブとの会話の機会を多く提供し、発話力・聴解力を向上させ、さらに、自身の能力が思ったより上達しないのは学習曲線における停滞期にいることを認識させることで、勉強しても上手くならないと考える学生は減少するであろう。進路のための情報収集における学生の主体性の低さに関しては、ゼミ等の時間でインターネットなどを活用して教員が学生らとともに情報収集を実演してみせることも重要であろう。また、進路に関する説明会が開催される際には掲示するだけでなく、告知のコピーの配布やSNSでの周知徹底などが必要であろう。

以上のような対策を来年度以降で施行し、別科の学習・進路指導や環境の改善、さらには中長期計画の礎石を築くうえでの一助とする。

参考文献

- 日本学生支援機構（2016）『平成 27 年度 私費外国人留学生生活実態調査』
- 小宮修太郎、長能宏子、平形裕紀子（1998）「日本人の会話とその教育に関する留学生の意識調査－中国人、韓国人、台湾人の回答結果を中心に－」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』13号 pp.129-162
- 小宮修太郎、長能宏子、平形裕紀子（2001）「日本人の話し方について留学生が持つ印象とその要因－中国人・韓国人・台湾人留学生の比較－」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』16号 pp.47-82

ねんあきがつき べつ か せい せいかつじつたい いしきちよう き
2019年秋学期 別科生の生活実態・意識調査
アンケート用紙

このアンケートは、先生たちが、今別科で勉強しているみなさんのことをよく知って、みなさんと、これから別科に入るみなさんのために、いい授業をしたり、いい環境を作ったり、いい進路指導をするために使います。

アンケートには、名前を書かなくてもいいです。アンケートでわかったことは、別科2019年度の『年報』で別科の先生や別科以外の先生たちにも知らせますが、みなさんのプライバシー(privacy)は守りますのでご協力をお願いします。

● アンケートの答え方

- ・ 質問の答えを選んで、番号に○をつけてください。
- ・ 「その他」を選んだ人は、() の中に、あなたの答えを書いてください。
() がない場合は書かなくてもいいです。

— アンケート (Questionnaire) —

- あなたのことについて教えてください。

Q1: 性別(gender)は、どちらですか。

1. 男 (Male) 2. 女 (Female)

Q2: 出身国はどこですか。

1. 中国 2. ベトナム 3. その他の国

Q3: 今、別科のどちらの課程で勉強していますか。

1. 日本語専修課程(Gクラス) 2. 日本文化専修課程(Uクラス)

●日本に留学する前のことについて教えてください。

Q4: どうして日本を選びましたか。

* 3つまで選んでもいいです。

1. 日本の専門学校や大学などの教育、専門に興味があったから
2. 日本と関係がある仕事があったから
3. 日本語を勉強したかったから
4. 日本文化や日本社会に興味があって、日本で生活したかったから
5. 自分の国から近いから
6. 国の友だち、知り合い、家族などに勧められたから
7. 日本に家族や、友だちや、知り合いなどがいるから
8. たくさんアルバイトができると思ったから
9. その他 ()

Q5: あなたが、自分の国で最後に卒業した学校は何ですか。

1. 高校
2. 専門学校
3. 短期大学
4. 大学 (3年)
5. 大学 (4年)
6. 大学院
7. その他 ()

●留学ビザまたは家族ビザで日本に来てから、城西大学別科に入学するまでのことについて教えてください。

Q6: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来てから、何年になりますか。

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年以上

Q7: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来たあと、城西大学別科にすぐ入学しましたか。

1. はい (Q9へ進んでください)
2. いいえ (Q8へ進んでください)

Q8: 留学ビザまたは家族ビザで日本に来たあと、城西大学別科に入学する前は何をしていましたか。

* 一番最近のものを1つだけ選んでください。

1. 日本語学校で勉強していた
2. 学部研究生や、科目等履修生として勉強していた
3. 専門学校で勉強していた
4. 家族と一緒にいた
5. その他 ()

Q9: どうやって一番最初に城西大学別科を知りましたか。

1. インターネットなどを使って自分で見つけた
2. 先輩や友だちに聞いた
3. 日本語学校や、専門学校や、専門学校の先生に聞いた
4. 家族、親戚、知り合いから聞いた
5. 城西大学別科の説明会を聞いた
6. その他 ()

Q10: どうして城西大学別科を選びましたか。* 3つまで選んでもいいです。

1. 他の学校より授業料が安いから
2. 授業の内容がよさそうだから
3. 大きい大学だから
4. きれいな大学だから
5. 城西大学の学部や大学院や短大に進学したいから
6. その他 ()

●今の勉強や、生活について教えてください。

Q11: 今までどのぐらい日本語を勉強しましたか。

1. 6か月未満
2. 6か月～1年未満
3. 1年～1年6か月未満
4. 1年6か月～2年未満
5. 2年～2年6か月未満
6. 2年6か月～3年未満
7. 3年以上

Q12: 日本語能力に関する資格(日本語能力試験 JLPT)を持っていますか。

1. N1
2. N2
3. N3
4. N4
5. N5
6. 持っていない

Q13: 次の進学や就職のために日本語能力試験 (JLPT) に合格する必要がありますか。

*必要がある人は、合格しなければならないレベルに○をつけてください。

1. はい、必要あります [N1 N2 N3]
2. いいえ、必要ありません

Q14: 日本留学試験 (EJU)を受けましたことがありますか。

1. はい、あります (Q15へ進んでください)
2. いいえ、ありません (Q16へ進んでください)

Q15: 日本留学試験 (EJU)の日本語科目の得点は何点でしたか。

1. 100～150点
2. 151～200点
3. 201点～250点
4. 251点～300点
5. 301点以上

Q16: 次の進学のために日本留学試験 (EJU) を受験する必要がありますか。

*必要がある人は、必要な得点に○をつけてください。

1. はい、必要あります [151~200点 201~250点 251~300点 300点以上]
2. いいえ、必要ありません

Q17: 授業以外で1週間に何時間ぐらい日本語の勉強をしていますか。

1. 7時間未満 2. 7~14時間未満 3. 14~21時間未満
4. 21~28時間未満 5. 28~35時間未満 6. 35時間以上

Q18: 授業以外で1週間に何時間ぐらい日本語以外の科目の勉強をしていますか。

1. 7時間未満 2. 7~14時間未満 3. 14~21時間未満
4. 21~28時間未満 5. 28~35時間未満 6. 35時間以上

Q19: 今住んでいる家から、城西大学まで(片道)どのくらいかかりますか。

1. 30分未満 2. 30分~1時間未満 3. 1時間~1時間30分未満
4. 1時間30分~2時間未満 5. 2時間以上

Q20: アルバイトをしていますか。

1. はい (Q21へ進んでください) 2. いいえ (Q24へ進んでください)

Q21: 今、どんなアルバイトをしていますか。

*3つまで選んでもいいです。

1. 居酒屋、レストランなど 2. スーパー、コンビニなど
3. ホテルの受付 4. 翻訳・通訳
5. 倉庫 (整理・仕分け) 6. 引越し
7. 工場 8. ホテルの清掃やベッドメイキング
9. その他 ()

Q22: 今、1週間に何時間アルバイトをしていますか。

1. 5時間未満 2. 5~10時間未満 3. 10~15時間未満
4. 15~20時間未満 5. 20~25時間未満 6. 25時間以上

Q23: なぜアルバイトをしていますか。

*1番大きい理由をひとつだけ選んでください

1. 生活費 (家賃、食費、電気、水道、保険料など)
2. 学費 (学校に払うお金)
3. 好きな物を買ったり、好きなことをしたいから
4. 日本語の練習をしたいから
5. 国の家族へ送りたいから
6. 日本へ来るとき借りたお金を返さなければならないから
7. その他 ()

Q24: 1か月の生活費 (学費以外) はいくらぐらいですか。

- | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 10,000円未満 | 2. 10,000~30,000円未満 | 3. 30,000~50,000円未満 |
| 4. 50,000~70,000円未満 | 5. 70,000~90,000円未満 | 6. 90,000~100,000円未満 |
| 7. 100,000円以上 | | |

Q25: 毎晩、家で寝る時間はだいたい何時間ぐらいですか。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 3時間未満 | 2. 3時間~4時間未満 | 3. 4時間~5時間未満 |
| 4. 5時間~6時間未満 | 5. 6時間~7時間未満 | 6. 7時間~8時間未満 |
| 7. 8時間以上 | | |

Q26: 今、日本語の勉強で困っていることがありますか。

*3つまで選んでもいいです。

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 授業がむずかしくてわからない | 2. 授業がつまらない |
| 3. 勉強してもじょうずにならない | 4. 先生や事務の先生と日本語で話ができない |
| 5. 教室以外で日本語を使う機会がない | 6. 宿題が多すぎる |
| 7. 宿題がむずかしくてわからない | 8. 家で勉強する時間がない |
| 9. 勉強のしかたがわからない | 10. 日本語の勉強で困っていることはない |
| 11. その他 () | |

Q27: Q26で、1を選んだ人だけ答えてください。

日本語の授業で、何がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

- | | | | | |
|-------|------------|------------|-------|-------|
| 1. 漢字 | 2. 語彙(ことば) | 3. 文法 | 4. 読解 | 5. 聴解 |
| 6. 会話 | 7. 作文 | 8. その他 () | | |

Q28: Q26で、1を選んだ人だけ答えてください。

どうして日本語の授業がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

1. 先生の話すスピードが速いから
2. 先生の説明のことがむずかしいから
3. 先生の声が小さい・聞きにくいから
4. 教科書などがむずかしいから
5. 授業のスピードが速いから
6. 自分が予習や復習をしていないから
7. その他 ()

Q29: Q26で、2を選んだ人だけ答えてください。

日本語の授業で、何がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

1. 漢字
2. 語彙(ことば)
3. 文法
4. 読解
5. 聴解
6. 会話
7. 作文
8. その他 ()

Q30: Q26で、2を選んだ人だけ答えてください。

どうして日本語の授業がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

1. その科目に興味がない
2. 教科書などがおもしろくない
3. 先生がちゃんと質問にこたえてくれない
4. 先生が親切じゃない
5. 説明が多すぎる
6. 先生が授業に関係のない話ばかりする
7. 授業が単調 (Monotony / 单调 / Đơn điệu)
8. その他 ()

Q31: Q26で、3を選んだ人だけ答えてください。

どんなとき日本語がじょうずになっていないと感じますか。下に書いてください。

() とき

Q32: あなたは、どのくらい日本語がじょうずになりたいですか。下に書いてください。

()

Q33: Q26で、5を選んだ人だけ答えてください。

城西大学のランゲージ・ラウンジ (Language Lounge) や JIST (Josai International Supporter's Team) の活動に参加したことがありますか。

1. はい (Q34へ進んでください)
2. いいえ (Q36へ進んでください)

Q34: Q33で、1.を選んだ人だけ教えてください。

これからもランゲージ・ラウンジやJISTの活動に参加したいと思いますか。

1. はい (Q37へ進んでください) 2. いいえ (Q35へ進んでください)

Q35: Q34で、2.を選んだ人だけ教えてください。

どうしてもうランゲージ・ラウンジやJISTの活動に参加したくないのですか。

下に書いてください。

() から

(Q37へ進んでください)

Q36: Q33で、2.を選んだ人だけ教えてください。

どうしてランゲージ・ラウンジやJISTの活動に参加しないのですか。

1. 知らなかったから 2. 興味が無いから
3. 時間がないから 4. その他 ()

Q37: 今、日本語以外の科目の勉強で困っていることがありますか。

* 3つまで選んでもいいです。

1. 授業がむずかしくてわからない 2. 授業がつまらない
3. 宿題が多すぎる 4. 宿題がむずかしくてわからない
5. 家で勉強をする時間がない 6. 勉強のしかたがわからない
7. 日本語以外の科目の勉強で困っていることはない
8. その他 ()

Q38: Q37で、1.を選んだ人だけ教えてください。

どうして日本語以外の科目の授業がむずかしいですか。*ひとつだけ選んでください。

1. 先生の話スピードが速い 2. 先生の説明のことがむずかしい
3. 先生の声が小さい・聞きにくい 4. 教科書などがむずかしい
5. 授業のスピードが速い 6. 自分が予習や復習をしていない
7. その他 ()

Q39: Q37で、2を選んだ人だけ答えてください。

どうして日本語以外の科目の授業がつまらないですか。*ひとつだけ選んでください。

1. その科目に興味がない
2. 教科書などがおもしろくない
3. 先生がちゃんと質問にこたえてくれない
4. 先生が親切じゃない
5. 説明が多すぎる
6. 先生が授業に関係のない話ばかりする
7. 授業が単調 (Monotony / 单调 / Đơn điệu)
8. その他 ()

Q40: 今、生活で困っていることがありますか。*3つまで選んでもいいです。

1. 生活費が足りない
2. 生活の中で使う日本語がわからない
3. 住んでいる家や部屋に問題がある
4. アルバイト先に問題がある
5. 体の調子が悪い
6. 保険証を持っていないため、病院へ行けない
7. 困ったとき、相談できる人がいない
8. 友だちができない
9. 生活で困っていることはない
10. その他 ()

●別科を卒業したあとの予定について教えてください。

Q41: 別科を卒業したあとの予定は何ですか。

1. まだわからない
2. 国へ帰って (進学・就職) する
3. 日本の専門学校に進学する
4. 城西大学の短期大学に進学する
5. // 学部1年生に進学する
6. // 学部3年生に編入する
7. // 学部研究生に進学する
8. // 学部科目等履修生進学する
9. // 大学院修士課程に進学する
10. // 大学院博士課程に進学する
11. 他大学の短期大学に進学する
12. // 学部1年生に進学する
13. // 学部3年生に編入する
14. // 学部研究生に進学する

*15.~19.が次のページに続きます。

15. // 学部科目等履修生進学する
がく ぶ かもくとうり しゅうせいしんがく
16. // 大学院修士課程に進学する
だいがくいんしゅう し かてい しんがく
17. // 大学院博士課程に進学する
だいがくいんはくし かてい しんがく
18. 進学しないで、日本で就職する
しんがく にほん しゅうしよく
19. その他 ()
た

●日本の学校に進学したい人と、日本で就職したい人だけ答えてください。
にほん がっこう しんがく ひと にほん しゅうしよく ひと こた

Q42: 進学先の学校で勉強したいことや、就職先でしたい仕事は、はっきりしていますか。
しんがくきき がっこう べんきょう しゅうしよくきき しごと

1. まだ何も考えていない 2. 今考えている 3. もう、はっきりしている
なに かんが いまかんが

Q43: 進学や就職のための情報集めや準備はしていますか。
しんがく しゅうしよく じょうほうあつ じゆんび

1. まだしていない 2. 今している 3. もう終わった
いま お

Q44: 進学したい学校や就職したい会社の説明会に参加しましたか。
しんがく がっこう しゅうしよく かいしゃ せつめいかい さんか

1. 学校の説明会に参加した 2. 会社の説明会に参加した 3. どちらにも参加していない
がっこう せつめいかい さんか かいしゃ せつめいかい さんか さんか

Q45: 進学や就職のための情報集めはひとりですみますか。誰かの助けが要りますか。
しんがく しゅうしよく じょうほうあつ だれ たす い

1. 自分ひとりですむ 2. 先生、友だち、先輩、家族などの助けが要る
じぶん せんせい とも せんぱい かぞく たす い

Q46: Q45で、2を選んだ人だけ答えてください。
えら ひと こた

どうして自分ひとりですみませんか。*一番大きい理由をひとつ選んでください。
じぶん いちばんおお りゆう えら

1. 日本語がわからないから 2. 情報集めの仕方がわからないから
にほんご じょうほうあつ しかた
3. ひとりで情報集めをするのが不安だから 4. ひとりで自分の進路が選べないから
じょうほうあつ ふあん じぶん しんろ えら
5. その他 ()
た

●日本の学校に進学したい人だけ答えてください。
にほん がっこう しんがく ひと こた

Q47: どうして日本の学校に進学したいのですか。*1番大きい理由をひとつだけ選んでください。
にほん がっこう しんがく ばんおお りゆう えら

1. 授業料が安いから 2. 入学試験が簡単だから
じゅぎょうりょう やすい にゅうがく しけん かんたん
3. 勉強したい専門があるから 4. 卒業したあと、日本で就職したいから
べんきょう せんもん そつぎょう にほん しゅうしよく
5. 卒業したあと、自分の国で就職しやすいから
そつぎょう じぶん くに しゅうしよく
6. 親が希望しているから 7. 日本での生活を長く続けたいから
おや きぼう にほん せいいかつ なが つづ
8. その他 ()
た

●日本で就職したい人だけ教えてください。

Q48: どうして日本で就職したいのですか。 *1番大きい理由を選んでください。

1. 自分の国より収入がいいから
2. 自分の国よりいい仕事があるから
3. 家族が希望しているから
4. 自分がしたい仕事ができるから
5. 日本での生活を長く続けたいから
6. その他 ()

●城西大学別科の授業、教室環境、進路指導などについて、希望があったら自由に書いてください。

Q49: 授業について希望があったら自由に書いてください。

<日本語の授業について>

<日本語以外の科目の授業について>

Q50: 教室の環境について希望があったら自由に書いてください。

Q51: 進路指導について希望があったら自由に書いてください。

Q52: その他、希望があったら何でも自由に書いてください。

これでおわりです。ご協力ありがとうございました。